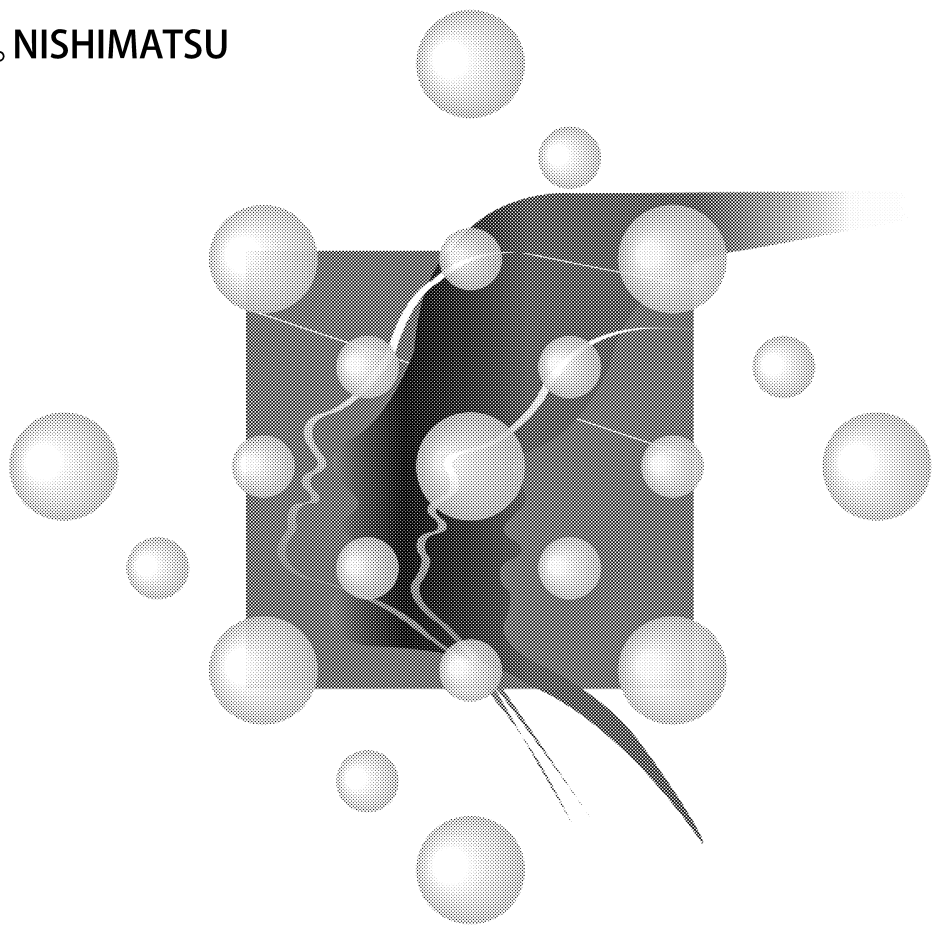


自然との調和。NISHIMATSU



自然と人との架け橋。私たちは快適な空間を創造します。

自然と人との共生。快適な空間の創造。
これこそ人類全てが目標に掲げ、次世代に受け継がなければならないテーマです。私たち西松建設は、この精神を忘れず、これからも自然と技術が融合する環境づくりを目指します。



西松建設

〒105-8401 東京都港区虎ノ門1丁目20番10号
電話 03(3502)0232
http://www.nishimatsu.co.jp/

防災のトビシマ

建ててから始まる真のお付き合い

防災のトビシマ

豊富な経験と技術力を生かし、
安全で安心な社会づくりに貢献します。



飛島建設

本社／神奈川県川崎市高津区坂戸三丁目2番1号
〒213-0012 TEL.044(829)6750
http://www.tobishima.co.jp

産学官で挑戦する

持続可能な社会へ

このほか土木学会関西支部では、社会インフラの維持管理に関する支部独自の取り組みとして、支部長懇談会による提言を11年4月に取りまとめた。この提言では持続可能な維持管理のために、予算措置と合理的な管理水準の検討や、人材の供給・育成、市場の活性化・魅力化、研究開発が重要とされた。提言に基づき「社会基盤施設の維持管理のための各種スキーム検討委員会」（委員長＝古田均関西大学教授）が設置された。同検討委員会では維持管理に関する資格や教育プログラムの現状を整理し、そのあるべき姿やスキームについて検討する「教育分科会」と維持管理技術の国際展開の可能性とその課題などを検討する「国際展開分科会」が活動し、成果が9月27日に報告される予定。また01年に創設された土木学会認定「土木技術者資格制度」では、技術士などの他の資格制度にはないメンテナン分野が設定されている。その資格要件は、土木構造物のメンテナン・技術支援に関する知識や経験を有し、非破壊検査、モニタリング、健全度評価手法、補修技術、ライフサイクルコスト評価などに関する知識を有していることである。メンテナン分野の全国120人の資格保有者がそれぞれが地域で活用されることが期待されている。土木学会では、このように現在でも社会インフラの維持管理・更新に関するさまざまな取り組みを推進しているところがある。今後は、社会インフラ・メンテナン分野の基礎を確立させ、さらに維持管理・更新に関する取り組みがより魅力的に、多くの国民の支援が得られるようにしてゆくことで、持続可能な社会を実現してゆく。

土木学会認定土木技術者資格と要求される能力

●特別上級技術者	Executive Professional Civil Engineer
経験によって培われた高い倫理観、専門分野における高度な知識および広範な見識により、日本を代表する技術者として土木界さらには社会に対して、多面的に貢献できる能力。	
●上級技術者	Senior Professional Civil Engineer
複数の専門分野における高度な知識と経験、あるいは土木技術に関する総合的知識を有し、重要な課題解決に対してリーダーとして任務を遂行する能力。	
●1級技術者	Professional Civil Engineer
少なくとも1つの専門性を有し、自己の判断で任務を遂行する能力。	
●2級技術者	Associate Professional Civil Engineer
土木技術者として必要な基礎知識を有し、与えられた任務を遂行する能力。	



土木学会委員会編さんの書籍



土木学会全国大会

9月4日
—6日開催—

土木学会は9月4日から6日までの3日間、日本大学生産工学部津田沼キャンパス（千葉県習志野市）で「平成25年度全国大会」を開く。大会テーマは「土木が築いた今日と、切り拓くべき未来」。大会の中では「社会インフラのメンテナン・特別企画」を設け、社会インフラの維持管理・更新に関する講演・セッションなどをとりまとめて実施し、参加促進を図る。特別企画に関連する主な講演・セッションは次の通り。
◇基調講演会（5日13時半～14時 田仁東京大学教授
25分）「信頼される土木学会を目指す」社会貢献を推進する」／橋本鋼太郎土木学会会長
◇特別セッション（6日12時40分～15時20分）「これからの社会インフラの維持管理・更新のあり方」土木学会で取り組むべき課題と対処戦略」／座長＝鈴木基行 東北大学教授 講演＝太田昭宏 国土交通大臣
◇国際パネルディスカッション（4日12時40分～15時55分）「持続可能な社会を実現する社会インフラの適切な維持管理・更新」各国での課題と取り組み」／座長＝家田仁東京大学教授

我々の日常生活を支える道路、鉄道、港湾、河川施設など多様な社会インフラは国や自治体など管理者が多岐にわたる。コンクリート製、鋼製など異なる材料で同様の機能を果たしているケースも少なくない。これら、細分化された状態が老朽化問題を陰に追いついていた側面がある」（橋本鋼太郎土木学会会長）といえる。今後、メンテナン分野の拡大・発展のためには効率的な点検技術などの開発に加え、課題を産学官で共有し、横断的に統合していく取り組みが必須とされている。

メンテナン分野の発展

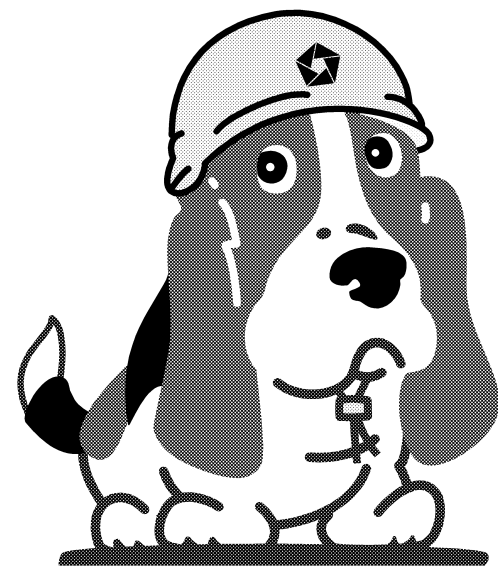
横断的取り組み必須

インフラの老朽化問題は、術者がいない」といった声に、自治体の計画策定率は50%を超えては、発注者がこうした状態ではインフラの適正な維持管理はままならず、受注者を含め技術レベルの向上も望めない。ただ、人口減少社会や厳しい財政事情の中で、インフラメンテナン

メラで確認できる点検口ボットや、センサーでのモニタリング技術などの開発が進んでいる。民間からの注目を、高めるには、多業種を巻き込み、点検や維持管理を成長分野とするシナシスの展望は欠かせない。土木学会が立ちあげた「社会インフラ維持管理・更新の重点課題検討特別委員会」では管理者や構造を問わず、全般をカバーするインフラメンテナン分野の確立を掲げる。人材確保・育成も重点課題。市町村の技術者が学会の支部活動などに参加しやすい仕組みをつくり技術研鑽の機会を提供する。また、地域の支援組織が必要」（橋本会長）とし、豊富な知見を持つOB技術者などを地域ごとに組織化する構想も描く。

建設産業

ワクワク未来創りたい



Mr. PENTA

その先の向こうへ
GOING FURTHER



東京都文京区後楽 2-2-8
http://www.penta-ocean.co.jp

1896年、広島県呉市にて創業した当社は、進取気鋭の精神と先端の建設技術をもって社会に貢献し、社会とともに成長してきました。創業100有余年、新たなフィールドへ常に挑戦し続ける心は、いまでも当社のDNAに引き継がれています。時代が変わっても変わらないチャレンジスピリットと、時代の変化に応じた柔軟な自己革新力。現状に甘んじることなく、一步一步着実に、前に進む。その先の向こうへ・・・五洋建設



地球もMAEDAの大切なステークホルダー

前田建設

http://www.maeda.co.jp